

佐賀広域消防局との救急症例研究会を開催しました。

令和元年12月11日(水)に、第1回佐賀病院救急医療研究会(救急症例研究会)を救急運営委員会主催で研修センター大ホールにて開催しました。

院内からは医師・看護師・コメディカル等、院外からは佐賀広域消防局管内の各消防署隊員、合計112名と多数の参加をいただきました。

今回の演題は以下のとおり

症例検討会

- 1) 救急搬送データから見える佐賀病院の救急医療の現状 経営企画係長 山口 遙奈
- 2) 佐賀病院に救急搬送された過換気症候群患者に関する現状 看護師 山口 愛
- 3) 低血糖で受診後に痙攣重積発作で救急搬送された1例 医師 吉田 理菜
- 4) 印象に残る佐賀病院への救急搬送症例

佐賀広域消防局佐賀消防署西分署救急係副主査 村田 剛

特別講演

- 1) 救急救命士にも求められる麻しんワクチン 2回接種の重要性
感染担当副師長 執行 えりこ
- 2) 関節脱臼の診断と初期対応
整形外科医師 中川 皓一郎

各症例等について、消防局側・病院側との質疑応対があり、お互いの認識共有が図られ、今後円滑な連携が図られるものと思います。今回初めてであったため議題数が多く、予定時間を大きく過ぎてしまいました。

最後になりましたが、ご講演いただいた演者の方には感謝するとともに、今後とも地域医療の質向上のため、救急隊との症例研究会を継続していきたいと考えています。



経営企画室長 海良田 猛